

事業の概要

当社グループの事業は、ミニチュア・小径ボールベアリングやロッドエンド&スフェリカルベアリング、ファスナー及びピボットアッセンブリーを主要製品とする機械加工品事業セグメント(当会計年度売上高比率 37.7%)と、液晶用バックライト、ハードディスクドライブ(HDD)用スピンドルモーターや、ステッピングモーター、DC ブラシレスモーター、DC ブラシ付モーター、ファンモーター等の情報モーター、計測機器等を主要製品とする電子機器事業セグメント(同 62.0%)、金型及び内製部品を主要製品とするその他事業セグメント(同 0.3%)により構成されております。

製品開発は、主に日本、ドイツ、タイ及び米国で行っております。生産は日本、タイ、中国、米国、シンガポール、マレーシア、カンボジア、フィリピン、ドイツ、チェコ及び英国などで行っております。当社グループ最大の生産拠点であるタイの生産高が連結生産高に占める比率は56.3%(当会計年度)であり、これに次ぐ中国での生産高は20.4%(同)です。日本を除くアジア全体の生産高は81.4%(同)であり、海外全体の生産高は92.8%(同)です。

当社グループ製品の主な市場は、PC及び周辺機器(当会計年度売上高比率 25.0%)、OA及び通信機器(同 24.1%)、自動車(同 12.6%)、航空宇宙(同 8.8%)、そして家電(同 7.2%)などです。これら製品のメーカーである当社グループの顧客は、日米欧のほか中国を中心にアジアで生産を拡大する企業が多いため、当社グループの地域別売上高は中国(香港を含む)が最も多く、連結売上高に占める比率は32.3%(当会計年度)、次いで日本が18.8%(同)、タイが12.9%(同)、他は欧州、米国等となっております。

当社は経営効率の改善とスピードの向上を狙い、2013年4月1日に機構改革を行って、「機械加工品製造本部」と「電子機器製造本部」の2製造本部に再編いたしました。それに伴い、2014年3月期からセグメント区分を変更いたしました。

戦略の概要

当社グループは高付加価値製品の開発を含めた従来製品の一層の収益向上と、機械加工製品技術と電子機器製品技術が融合された複合製品事業も含めた事業ポートフォリオの再構築を検討し、製造、営業、技術及び開発の領域を越えた総合力の発揮により、「顧客要求対応力」と「価格対応力」の強化に努めます。さらに、地域的なリスク検討を行いながら、大規模な海外量産工場の展開と研究開発体制を整備するとともに、M&A・アライアンスを通じて、事業ポートフォリオの再構築及び企業価値の拡大を積極的に進めてまいります。

これらを具体的に推し進め、業績の一層の改善をはかるため、次のような「5本の矢」戦略を発表し、その執行に取り組んでおります。

1. ボールベアリングの外販を早期に月平均1億5千万個に引き上げる。
2. TRDC(東京研究開発センター)などによるモーターを中心とした新しい複合製品の開発、拡販を行い、「Electro Mechanics Solutions®」をさらに加速する(®は日本の登録商標です)。
3. 電子デバイス部門、技術開発部で開発した街路灯を含む照明器具及びその部品の事業基盤を早期に確立し、スマートビルやスマートシティで使用される部品・製品にも参入する。
4. 計測機器のセンサーとしての機能を再認識した事業戦略に基づき、計測機器関連製品の売上を早期に年間200億円程度に引き上げる。
5. New Hampshire Ball Bearings, Inc.を中心としたロッドエンド事業などの航空機部品事業のグローバル・プレゼンスを生かしたシナジー効果の最大化により、航空機部品事業の売上、利益の大幅拡大をはかる。